

議会改革特別委員会検討内容（令和8年7月10日）

特定事件「議会改革について」、検討事項の各項目について、項目ごとに意見交換を行いました。

各項目についての各会派の意見等は、次のとおりです。

《通年議会について》

草加自民党・無所属の会	SOKA新政	公明党	立憲民主党	提案会派 市民共同
検討しなければならないことが多くあると思った反面、前回の執行部の説明を聞くと、整理しながら検討を進められると思ったので、この委員会でこのまま進めていくのがよい。	前回、執行部の説明を聞き、盛りだくさんであることや、やり方が何パターンかあるとのことで、内容的に大変という意見があった。 前向きに検討することは非常によいことだと思う。	一度は導入について前向きだったが、議会事務局や執行部の話を聞き、再度協議を行ったところ、かなり時間を要することから、通年議会にこだわらず、現状維持でよい。	課題を整理し、議論・検討を進めること自体はよい。	以前から言っているとおり、全員一致でないと進めるべきでないと考えている。 公明党の言うとおり、調査を進める中で今の運用でできる部分もあるなどの気づきもあった。 できればこのまま継続して調査したい。

→各会派から意見があった内容について、各会派持ち帰りとなりました。

《議員定数について》

SOKA新政	公明党	市民共同	立憲民主党	提案会派 草加自民党・無所属の会
前回と意見は同じ（現状維持）。 目安や基準を作ることに反対はしていないが、改選が近い中で、今の議員が決めるのはどうかと思う。	前回と意見は同じ（現状維持）。	前回と意見は同じ。	前回と意見は同じで、基準を設けるのであれば、現在の人口をベースにして設定するのであれば、検討の余地はある。	（質問）議員定数に関し、過去に要望書や陳情書が出されているが、その団体から、話があると聞いたので教えてほしい。 →休憩中に内容・取り扱いについて確認。

→次回の委員会で意見交換を行うこととなりました。

《特別委員会における質問時間について》

提案会派				
SOKA新政	公明党	市民共同	立憲民主党	草加自民党・無所属の会
まとまるどころでよいが、あくまでも試行ということで73分を過ぎたとしても打ち切りせず運用し、その結果を見て改めて、協議・検討したい。	あくまで試行なので提案のとおりでよい。	提案のとおりでよい。 会派全体の持ち分となっており、エクセルを使って計測することを想定していると思うが、対応できるのか。難しければ個人のみとしてもいいのではないか。	提案のとおりでよい。	以前提案したとおり、質疑・答弁を含めた1人当たりの持ち時間を73分としたい。（提案）

→ 9月定例会の一般会計決算特別委員会において、委員1人当たりの持ち時間は、質問・答弁を含め、4日間で73分とし、今回は試行的運用のため、時間を超えても発言を制限しないことを決定しました。

次回の協議内容については、各検討事項についての意見交換を行うことに決定しました。

次回（第20回）の議会改革特別委員会の日程は9月定例会中に調整することとし、未定です。

日程が決定しましたら、市議会ホームページでお知らせいたします。